

美術科学習指導案

1. 学年 第2学年（2年〇組）コンピュータ教室

2. 題材名 「今日からまちは美術館！！」
～『堺・アートクルーズ』を活用したパブリックアート鑑賞～

3. 題材について

鑑賞学習は今、「言語能力育成の観点」からも重視され、生徒たちの豊かな感性や創造性をはぐくむとともに美術文化の理解を深めるものとして、一層の充実が求められている。また、実物の美術作品を鑑賞する機会を得られるようにするため、地域の美術館・博物館等の施設や文化財などの積極的な活用が重視されている。

私たちの住む各地域には、それぞれの施設等にたくさんのパブリックアートが存在している、これらには著名な作家の作品も数多く含まれており、芸術性の高い本物の彫刻作品（実物の美術作品）と言える。

『堺・アートクルーズ』はこのような地域に点在するパブリックアートをWebサイトにまとめたものである。まち全体を美術館に見立てた学習を通し、地域など身近な環境に存在する実物の美術作品に対して関心を高めるとともに、作品のよさや美しさを感じ取らせ、鑑賞活動の充実を図りたい。

指導にあたっては、コンピュータを活用する上で、次の3点のメリットを大切にしてい取り組みたい。第一に、1時間という限られた時間の中で効率よく授業を行うことができる。第二に、スライドの使用により、授業の意図に合った美しい視覚的情報を生徒に与えることができる。第三に、インターネットの活用により、生徒の主体的な学習とその広がりが期待できる。

また、自分の価値意識をもって批評しあうなど、生徒間の交流を大切にしながら授業を進め、最後にはワークシートに本時のまとめを書かせるなど、言語能力の育成を図るとともに、質の高い鑑賞活動への発展をめざしたい。

本時では授業の導入として、世界にある様々なパブリックアートをスライドで鑑賞させる。外国のパブリックアートからスタートし、身近で見覚えのある日本のパブリックアート、堺市のパブリックアートへと範囲を狭くしながら授業を展開する。その中でパブリックアートとはどういう芸術なのか解説し、野外彫刻だからこそ感じられる面白さを味わわせる。(形、色彩からイメージする面白さ。素材や構造の面白さ。パブリックアートが人間の行動や心理にも影響する面白さ。設置場所により人通りや商業施設に効果を与える面白さ。光・風などの自然の効果や環境要素を利用する面白さ。)

4. 題材の目標

・『堺・アートクルーズ』の鑑賞を通して、地域の美術文化などに関心をもち、パブリックアートの造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り見方を深める。

5. 題材の評価規準

● 美術への関心・意欲・態度

・『堺・アートクルーズ』の鑑賞を通して、形、色彩、材質、設置場所、サイズなど、特徴や印象及び作品の情報をもとに地域のパブリックアートのよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などに関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。

◆ 鑑賞の能力

・『堺・アートクルーズ』の鑑賞を通して、形、色彩、材質、設置場所、サイズなど、特徴や印象及び作品の情報をもとに地域のパブリックアートの全体の感じ、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。

6. 指導計画（本時完了）

時間	学習活動	支援	評価
導入 5分	○パブリックアートについて のイメージを出し合う。	○パブリックアートに対して生徒がどんなイメージを持っているか、意見を聞き出ししたりしながら本時の流れを説明する。	
展開1 15分	○スライドに興味を持って鑑賞し、パブリックアートの特徴などについて理解する。 ○パブリックアートを身近な彫刻作品としてとらえ、自らのイメージをもって鑑賞し、感じ取ったよさや美しさを発表する。	○実際にスライド写真を例示し、パブリックアートの意義や役割について説明し、美術作品が人間の生活に深くかかわっていることなどを実感させる。 ○形、色彩、材質、設置場所、サイズなどの特徴やから自分のイメージをもたせる。 ○適宜必要に応じて作者のプロフィールや作者の言葉、時代背景等の知識を与え、鑑賞を深めさせる。	●地域のパブリックアートのよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。スライド写真に興味を持って見ている。
展開2 20分	○『堺・アートクルーズ』内の多様な作品を鑑賞し、自分の意見や感想をまとめながら、批評し合う。他の生徒の反応や発言についても興味をもつ。 ○形、色彩、材質、サイズ、作家等を相互に比べ鑑賞するなど、Web鑑賞ならではの鑑賞法を試す。	○『堺・アートクルーズ』にアクセスし、サイト内の作品を鑑賞させる。同時にサイトの特徴や、効果的な使用方法について指導する。 ○基本的にパソコンでの鑑賞は各自の操作に任せる。必要に応じてリンクページまでのアクセス方法を伝え、主体的な鑑賞活動を促す。	◆地域のパブリックアートのよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。
まとめ 10分	○本時の授業を振り返りながら、本時の感想とともに『堺・アートクルーズ』から気に入った作品をワークシートにまとめ、発表し合い、意見交換する。	○言語能力の育成の観点からも、自分の意見、感想を、根拠を示しながら言語化できるよう指導する。	